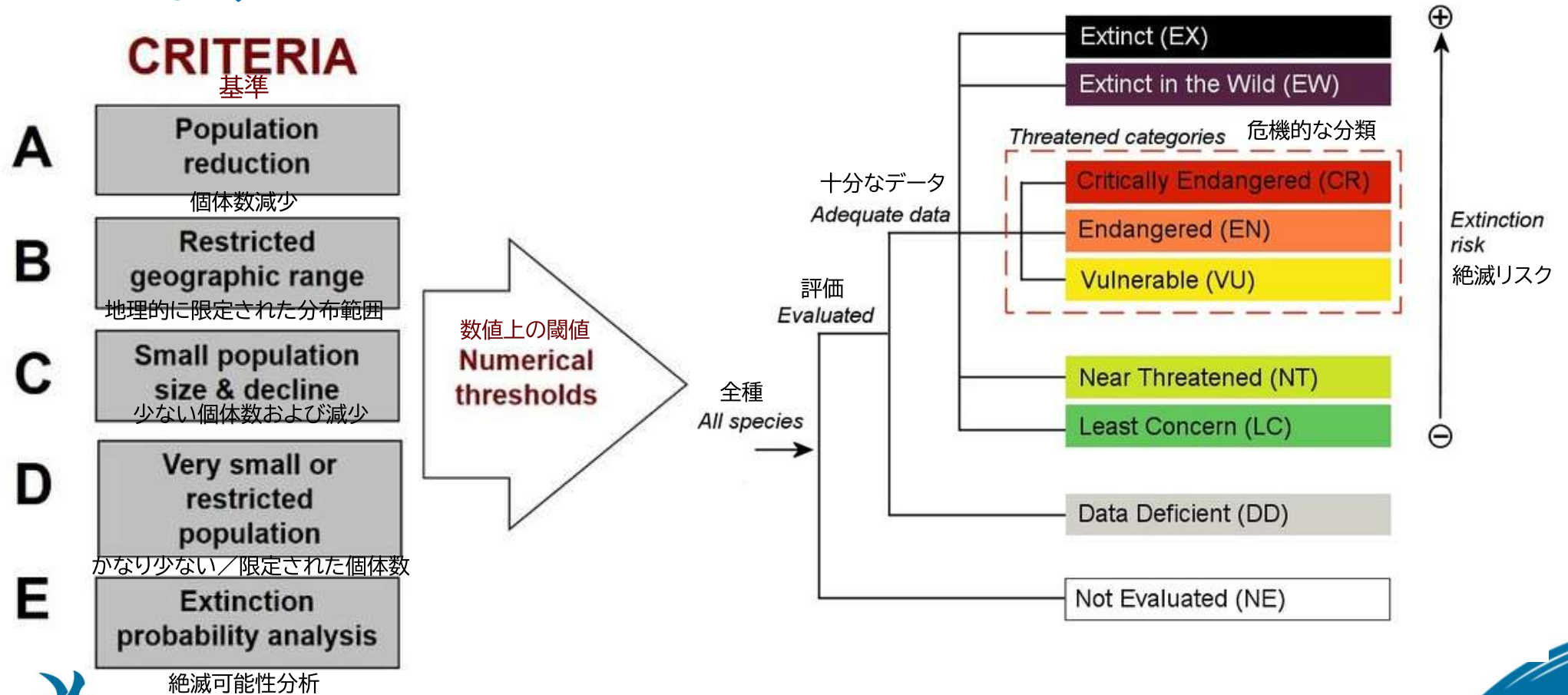


Red List Update

レッドリスト更新

BirdLife は、毎年鳥類のレッドリストを作成し、IUCNに提出しています



2025年、BirdLifeは 192種の現状について調査・研究しました



2024年以降の絶滅危惧種の増減

GLOBALLY THREATENED



■ レッドリストの変動の多くは、知識の更新による見直しであって、種の状態が実際に変化したものではありません。そのため、実際の状況変化を追う際には、genuine change(本当に起きた変化)のみを反映する Red List Index を用います。

危険度が上がった鳥類(状況が悪化した種)

シロハラチュウシャクシギ
Slender-billed Curlew
CR(深刻な危機) → EX(絶滅)



(和名なし) **Javan Pied Starling**
CR(深刻な危機) →
CR (PEW) (深刻な危機: 野生絶滅の可能性)



危険度が上がった鳥類

キイロマミヤイロチョウ

Schlegel's Asity

NT(準絶滅危機) → VU(危急)



クロコブサイチョウ

Black-casqued Hornbill

LC(低懸念) → NT(準絶滅危機)



危険度が上がった鳥類

ボボリンク

Bobolink

LC (低懸念) → NT (準絶滅危機)



危険度が下がった鳥類(改善がみられた種)

ロドリゲスヤブセンニュウ

Rodrigues Warbler

NT(準絶滅危機) → LC(低懸念)



ロドリゲスベニノジコ

Rodrigues Fody

NT(準絶滅危機) → LC(低懸念)



危険度が下がった鳥類

ユキヒメドリ

Guadalupe Junco

EN(危機) → VU(危急)



2016年以降の変化



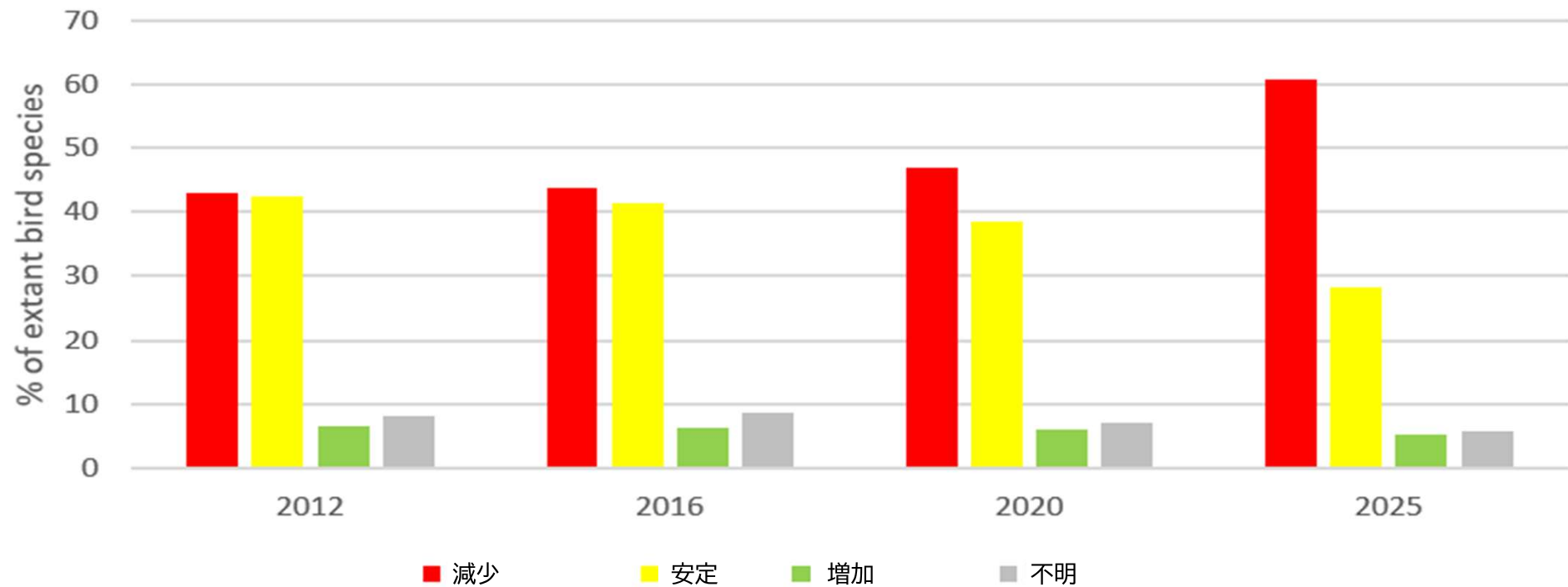
- 2016年: 1,460種が絶滅危惧種 = 13.3%(おおよそ8種に1種)
- 2025年: 1,256種が絶滅危惧種 = 11.5%(おおよそ9種に1種)

しかし:

- 調査の知見により多数の修正(実際の状況変化ではない変更)がある
- 分類学的変更(AviList)の実施による、数値変更の可能性がある

2016年以降の個体数の変化

世界の鳥類の個体数の推移(各年のレッドリスト評価時に利用可能だったデータに基づく)



こちらも知見の向上による(Global Forest Watchなど)

2026年に向けての優先順位とタイムライン

- レッドリスト・インデックスの更新
 - 2017/2018年の最終評価種
 - 早急に分類更新が必要な種
 - Avi Listとの整合性
-
- 2026年3月下旬: 提出
 - 2026年7月上旬: 公表
 - 新レッドリストデータベースは2026年秋に公開

Red List Index of species survival for birds

